

# 現役時代の思い出が詰まった 場所で過ごす安楽な日々。

平成16年12月にご入居された 芋生創一様

健康で残された人生の  
ささやかな幸せを求めて

「現役時代は九州電力に勤めていたんですよ。天草や山鹿などへ転勤しましたが、拠点になったのはこの場所にあった熊本支店。平成元年の退職まで、長年通勤していた場所に住むようになるなんて、不思議な感じですね」とこやかにお話をされる芋生さん。熊本市内に住む娘さん家族と同居されていましたが、「お嫁にやったのだから、そう長くは世話になれない」と、気に入った老人施設が出来たら移ろうとかねがね考えていらつしやったとか。OBに送られてくる会報で『グランガーデン熊本』の情報をいち早く知り、古巣の会社が創るシニアマンションということもあり、すぐに興味を持たれたそうです。

現在の暮し振りはとても活動的で、入居後に始めた太極拳や卓球などを通して、親しく付き合えるお友達も増えたとのこと。「入居されているみなさんいい方ばかりですから、暮らしやすいですよ。今はときどき卓球をしています。ラケットのにぎり方もわからない初心者でしたが、みなさ



んに教えてもらったおかげで、ラリーも少しは続くようになったんですよ」と満足そうな笑顔です。起床後は熊本城までウォーキングに出かけたり、近くの飲食店にお昼ごはんを食べに行ったり、旧友とゴルフやお酒を楽しんだり小さな旅をしたりと、楽しく過ごされる芋生さん。「いつ電話しても部屋にいないね」と友達から言われるほど行動的です。

「毎日楽しく生活できるのも、健康でいられるから。『グランガーデン熊本』には介護が充実している上に病院が併設され、健

康面の不安はありません。入居後に風邪を長引かせた時も、去年火傷した時も、スタッフのみなさんに適切に対応していただきました。私の健康に注意を払ってくれた人がたくさんいて、安心して暮らせる施設だと改めて実感できました。以前は、旅行や釣り、ゴルフと大変忙しく遊び回りましたが、今ではおとなしく、元気でお酒を飲めるのが一番楽しいですね」と顔をほころばせながら話してくださいました。